



内水ハザードマップとは

大雨時に下水道や水路などから浸水が想定される区域や、浸水する深さなどをまとめたマップです。自分が住んでいる地区、職場などの日常生活の場所をハザードマップに印を付け、その付近の浸水深や安全に避難できる施設を確認してください。

日頃から災害についての備えや、避難場所、避難方法、連絡の取り方などについて家庭でしっかりと話し合しましょう。

知立市 上下水道部下水道課
令和7年7月作成

〒472-8666 愛知県知立市広見三丁目1番地
電話番号:0566-95-0134 (直通)

マイタイムライン

作成年月日 年 月 日

平常時の確認事項

- 自宅の状況を確認 浸水深:
 - 避難する場所
 - ☐ 浸水域外への避難所
 - ☐ 浸水域外にある親戚・知人の自宅
 - ☐ 近くの高くて頑丈な建物
 - ☐ 自宅の浸水しない場所(2階など)
 - その他
- 避難場所:
 - 避難する場所までの移動時間
- 避難する場所までの交通手段
- 避難する際に支援してくれる人
名前: 電話: 名前: 電話:
- 気にかけてくれる人
名前: 電話: 名前: 電話:
- 避難を開始するタイミング
- 必要な物を準備

POINT「どのような施設への避難が自分にとって必要か」ということを考え、実際に避難するために「どこへ」、「誰と一緒に」、「どれくらいの間隔で」、「どのような手段で」、「何を持って」避難するかを考えましょう。

- 実際に避難するために必要なことを考えましょう

気象・水象情報

- 台風に関する気象・防災情報
 - 台風に関する気象・防災情報(即時)
 - 台風に関する気象・防災情報(即時)
 - 台風に関する気象・防災情報(即時)
 - 大雨注意報・洪水注意報
 - 大雨警報・洪水警報
 - 土砂災害警戒情報
 - 暴風警報
 - 記録的短時間大雨情報
 - 大雨特別警報

住民のみなさん

- テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の確認
- ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
- 防災グッズの準備
- 自宅確認

避難のポイント

- 実際に避難するために必要なことを考えましょう

警戒レベル1
気象状況悪化のおそれ

警戒レベル2
気象状況悪化

警戒レベル3
災害のおそれあり

警戒レベル4
災害のおそれ高い

警戒レベル5
災害発生または切迫

要配慮者避難開始

避難開始→避難完了

- 防災無線、携帯メール等による避難指示の受信
- 避難指示者の危険回避行動(避難所等屋内安全確保)
- ただちに命を守る行動をとる

家族・近隣の状況

避難の準備

- 避難の準備(ここがえええええ)

災害について学ぶ

氾濫の種類

内水氾濫と外水氾濫(洪水)は何かちがうの？

内水氾濫

排水路や下水道管の処理能力を超える雨量が短時間に一挙に流入することや、川の水位が上昇して雨水をポンプで川に流せないことが原因で、市街地の建物や土地、道路などへ浸水することを内水氾濫といいます。

外水氾濫

河川の堤防から水があふれる、または、破壊して、家屋や田畑が浸水することを外水氾濫といいます。大量の流れの速い氾濫流が一気に流入し、短時間で居住地(住宅、市街地など)の浸水被害が起るため、人的被害を伴う大きな災害になるおそれがあります。

内水氾濫で想定される被害

床下浸水

床上浸水

地下空間における浸水

避難について学ぶ

浸水深ごとの避難行動の目安

予想される浸水の深さ、お住まいの建物の高さによって、必要な避難行動に違いがあります。自分に必要な避難行動を知っておきましょう。

予想される浸水の深さ	建物の階層(戸建て住宅の場合)	居住階(集合住宅の場合)	避難行動
1.0〜3.0m未満(1階の軒下まで浸水)	2階建て以上	2階以上	屋内退避不可 速めに避難施設へ
0.5〜1.0m未満(1階の床下まで浸水)	平屋建て	1・2階	
0.3〜0.5m未満(1階の床下まで浸水)	平屋建て	1階	
0.3m未満	全ての建物		避難所へ避難(立退き避難) 逃げ遅れたら 屋内退避・上階等へ避難

着色無し(浸水想定なし) → 想定以上の降雨もあり得るので注意してください

避難の心得

やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

歩く際の深さの目安は男性で70cm、女性で50cmまでです。それ以上は救助を待ちましょう。

水深が深い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。無理をせず救助を待ちましょう。

高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。

深い浸水だとマンホールに気付かず、吸い込まれてしまう場合があります。

濡れた靴は滑りやすいため、歩行に注意しましょう。

濡れた靴は滑りやすいため、歩行に注意しましょう。

濡れた靴は滑りやすいため、歩行に注意しましょう。

濡れた靴は滑りやすいため、歩行に注意しましょう。

避難するときの服装

- 傘は使わず、雨合羽を着用する。
- 非常持出品はリュックサックに入れて背負う。

避難するときの服装

- 避難が完了してない場合は、直ちに避難を開始してください。
- 外に避難することによって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

避難するときの服装

- 避難が完了してない場合は、直ちに避難を開始してください。
- 外に避難することによって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

避難するときの服装

- 避難が完了してない場合は、直ちに避難を開始してください。
- 外に避難することによって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

避難するときの服装

- 避難が完了してない場合は、直ちに避難を開始してください。
- 外に避難することによって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

避難するときの服装

- 避難が完了してない場合は、直ちに避難を開始してください。
- 外に避難することによって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

情報を収集する

警戒レベルととるべき行動

大雨のときには、情報を収集し、適切な避難行動ができるように、5段階の「警戒レベル」を用いて、避難情報や防災気象情報などを確認し、とるべき行動を平時のときから考えておきましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動	市の対応	警戒レベル相当警報等
5	命の危険直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。	緊急安全確保 必ず実施する情報ではありません。	大雨特別警報

〈警戒レベル4までに必ず避難!〉

警戒レベル	住民がとるべき行動	市の対応	警戒レベル相当警報等
4	危険な場所から全員避難 台風などにより暴風が予想される場合は暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに避難情報の把握手段を再確認する。	—	大雨注意報 洪水注意報
1	災害への心構えを高める	—	早期注意情報 (警報級の可能性)

雨の強さと降り方

雨の様子	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10〜20mmの雨	1時間に20〜30mmの雨	1時間に30〜50mmの雨	1時間に50〜80mmの雨	1時間に80mm以上の雨	
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる	傘はまったく役に立たなくなる	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		

情報の伝達経路

避難指示等は図のような経路で住民の皆さんに伝達されます。

洪水、氾濫、大雨等の警報

防災気象情報

放送局

テレビ・ラジオ
すくメール・LINE

住民のみなさん

高齢者等避難、避難指示

避難情報

知立市役所(災害対策本部)

警察・消防署・消防団・自主防災組織

市ホームページ・すくメール・LINE・広報車等

住民のみなさん

情報の入手先

●知立市

- 知立市ホームページ
 - <https://www.city.chiryu.aichi.jp/>
 - 気象警報が発表された場合にトップページで情報を確認することができます。
- 知立市すくメール
 - <https://plus.sugumail.com/user/chiryu/home>
 - 空メールを送信することでメールサービスに登録できます。また、日本語他3言語にも対応しています。
- 知立市公式LINE
 - 友達登録することで、知立市に関する様々な防災情報等を受け取ることができます。
- 同報無線
 - 防災ラジオにて聴取可能です。

●愛知県

- 愛知県川の防災情報
 - <https://www.kasen-aichi.jp/>
 - 県内河川、県管理河川(津奈川、津波川)の水位、河川カメラを確認できます。
- みずから守る防災メールサービス
 - <https://www.kasen-aichi.jp/>
 - メールサービスに登録すると、大雨や洪水などの防災情報を受信できます。

●気象庁

- 名古屋地方気象台ホームページ
 - <https://www.jma-net.go.jp/nagoya/>
 - 注意報・警報、雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)を確認できます。

●国土交通省

- 国土交通省川の防災情報
 - <https://www.river.go.jp/portal/#80>
 - 河川の水位や河川カメラ、洪水予報に関する情報を確認できます。
- 川の水位情報
 - <https://k.river.go.jp>
 - 危機管理型水位計の水位情報を確認できます。

●報道(テレビ・ラジオ)

- KATCH&Pitch(アプリ)
 - ケーブルテレビ局「KATCH」とコミュニティFM「Pitch FM」の公式アプリ
- キャッチ(KATCH)
 - <https://www.katch.co.jp/>
- Pitch FM(ピッチエフエム)
 - (FM 83.8MHz)

浸水被害を防ぐ方法を考える

浸水深が浅いときは、家庭にあるものを使って、家屋への浸水を軽減することができます。

●簡易水のうの作り方

45リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れ、さらに外袋をひもでしばり、さらに外袋をひもでしばります。(持ち運べる程度)

玄関からの浸水を防ぐ

排水口からの浸水を防ぐ

お風呂や洗濯機、トイレ等の排水口から逆流した水があふれる場合があります。水の下で栓をすることで防ぐことができます。

●側溝や雨水ますに注意しましょう。

雨水は側溝や雨水ますに流れて排水されます。ごみや落ち葉等が詰まると水が流れにくくなりますので、家の周りの側溝や雨水ますを清掃しましょう。

また、雨水ますをふさいでしまうと、道路上に水があふれてしまうため、物を置かないようにしましょう。

普段からの備え

身近な人と相談しよう

ハザードマップを活用して、日頃から避難について話し合しましょう。

●避難場所の確認をしよう

浸水しない安全な避難場所を見つけよう。

●避難路を確認をしよう

アンダーパスや地下道を避けた安全な避難ルートを見つけよう。

●避難の方法を確認をしよう

車以外の避難方法を見つけよう。車での避難は緊急車両の妨げになるかも。

●避難行動について考えよう「マイタイムライン」を作成しよう

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、台風等の接近による大雨時にとる行動を時系列的に整理した、防災行動計画です。自ら考え命を守る避難行動の一助とするため、日頃から作成しましょう。

自宅周りの点検をしよう

大雨、台風への備えとして、普段から家の周りを点検しておきましょう。台風が接近してからの屋外作業は非常に危険です。

●ベランダ

●屋根

●雨どい・雨戸

●外壁

●ブロック塀

●側溝

●窓ガラス

自主防災会・防災訓練に参加しましょう

大規模災害時では、消防や警察などの救援が得られないとき頼りになるのは、住民自身が自発的につくる防災のための組織(自主防災会)です。地域の自主防災会の活動や、防災訓練に積極的に参加しましょう。

自主防災